

おごせ 教育 Pick Up



越生小学校

5年生が小川げんきプラザへ宿泊学習に行ってきました。梅園小学校と合同で実施し、キャンプファイヤーも例年以上に盛り上がりました。2日目のお昼はカレーライスを自炊し、おいしくいただきました。一生の思い出になる二日間になりました。

梅園小学校

5年生が越生小と合同で宿泊学習に行ってきました。キャンプファイヤーでは、両校の児童が協力して運営し、プログラム最後のダンス「ジンギスカン」が終わると、子どもたちからアンコールの大合唱。もう1回踊りました。



越生中学校

9月3日、光耀祭体験学習を行いました。うちわ作りや手打ちうどん、茶道教室など18講座、59人の講師にお世話になりました。どの講座も生徒たちは一生懸命に取り組み、講師の方たちと楽しい時間を過ごしました。

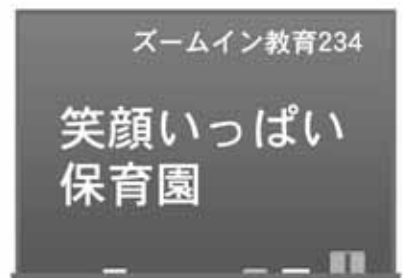


おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子どもたちを写真で紹介するコーナーです。

越生まつりが大好きに：
7月の保育園まつりでは、「てんでんつく・てんつくてんつく」「わっしょい・わっしょい」と、園内を子どもたちの元気な声が響き渡りました。段ボールや缶のふたを利用して作った手作りの小太鼓と中太鼓を園児たちが代わる代わる叩き、手作りのお獅子も登場。年長児は自分たちで作ったひよつこのお面をつけ、巧みな踊りを披露しました。また、有志の方と保育士によるお囃子を間近に見るこ

「笑顔とあいさつ」を合言葉に、越生保育園の一日は心を込めたあいさつから始まります。そして、園児たちの意欲的な活動の中から笑顔がいっぱいの保育園を目指しています。



越生保育園



ともできませんでした。保育園まつりが終わった後も気持ちの盛り上がりは続き、みんな越生まつりが大好きになりました。これからも、越生町伝統の行事を保育に取り入れ、伝えていきます。どの子も越生町で育ってよかったと思い、越生町を大好きでいてほしいと願っています。

保護者や地域の方の温かい見守りの中で、子どもたちの心はのびのびと育っています。引き続き、ご支援、ご協力をお願いいたします。

越生浪漫

No.93

「おごせの文化財」
写真展示コーナー・秋



「木造如意輪観音半跏像」如意の観音様

町の皆さんに郷土の有形・無形の文化財について理解を深めていただくため、中央公民館で行っている写真展示コーナーが、早くも秋の入替の時期となりました◆越生町の秋の風物詩といえば獅子舞です。本年も4社で奉納されます。獅子舞奉納日時は、12ページをご参照ください◆また



「八幡神社の獅子舞」(津久根)



「東山神社の獅子舞」(上野一)



「住吉神社の獅子舞」(麦原)



「梅園神社の獅子舞」(小杉・上谷下組・堂山)

「如意の観音様」として親しまれている「木造如意輪観音半跏像」が11月3日にご開帳されます。耐火収蔵庫に納められているため普段は拝観できませんが、如意区の檀徒に

よって年に3回のご開帳が続けられています◆ハイキングに適した時期に、仏像を拝みに、簾と笛の音を聞きながら秋の紅葉を愛でに、町内へ出かけてみましょう。

おごせ 昆虫と自然の館 通信 No.54

ツマグロヒョウモンの越冬

「チョウ目 タテハチョウ科」

春から秋、庭先や公園、道路沿いでゆつくり飛んでいる朱色がめだつききれいなチョウがいます。それがツマグロヒョウモンです。雌成虫の前翅の先端は黒紫色、中に白斑があり一目でわかります。その色柄から中国では「黒端豹斑蝶」といいます。雄の翅表は朱色にヒョウ模様、後翅の外側は黒く縁どられています◆このチョウはインド〜アフリカ北東部、中国などに分布し、関東では2002年頃から普通に観察されるようになりました◆成虫は年に4〜5回発生を繰り返す。幼虫で越冬、晩秋から初冬の小春日和に、花壇に植えたスミレ類の葉裏に乳白色の卵を一粒ずつ産卵します。ふ化した幼虫はスミレ類やパンジーの葉を食べる



◆パンジーに産卵中の雌成虫(左)と越冬する老熟幼虫(右)

が越冬します。幼虫には突起物があり、一見刺されそうに見えグロテスクですが、毒はなく、刺されることもありません。成熟すると約3cm、全体に黒色で、背面には1本の赤い筋が縦に走ります◆きれいなチョウをベトナム昆虫のように眺めるのは良いのですが、パンジー類を出荷している園芸農家にとっては、葉を食害する恐ろしい害虫です。対策として、施設栽培では成虫が入らないように防虫ネット、露地ではトンネル被覆で防ぎます。幼虫が多発しそうな時は、農薬で防除することになります。(平井一男)